

# 芳賀中学校生徒会模擬議会

12年ぶり  
の開催!

## 議長・町長からのあいさつ



見目 匠町長



増渕 さつき議長

昨年、選挙権が20歳から18歳に引き下げられましたが、全国的に若い人たちの投票率は低迷しています。責任は社会全体にあり、大人の私たちが若い人たちに対して、政治や選挙の重要性を教えていないことがあると思います。皆さんは中学生なので、まだ選挙権はありませんが、この中学生時代から政治に関心を持つことは重要です。限られた時間ですが、芳賀中学校の代表としてしっかりと姿勢で一般質問をしていただき、それを契機として政治に関心をもつていただきたいと思います。

ここ議場において、町議会議員と同じ場所同じ方法で芳賀町の将来について夢を語り合ひ、身近な地域社会について討論することは意義深いことです。

芳賀中学校の代表として選ばれた皆さんは、日々皆さんの目を通して感じたことや思っていることを質問してくださるものと思われます。芳賀町の未来を担う皆さんには、本日の貴重な体験をもとに議会や役場の仕事を理解していただき、町政への関心を深め、将来芳賀町の発展のために一翼を担っていただけるものと心から期待申し上げます。

## 模擬議会を終えて



増渕 琴音さん  
(傍聴者)



阿久津 祐貴さん  
(議員)



島田 健太さん  
(議員)



綱川 達大さん  
(議長)



質問項目	氏名(年組)
議長	川崎 達大(2年3組)
書記	見木 芹(2年4組)
1 LRTの整備計画について	岩渕 嘉陽(2年5組)
2 公共施設の整備計画について	水戸邊 龍清(2年5組)
3 ごみ問題について	島田 健太(2年1組)
4 人口減少への対策について	黒須 茗生(2年1組)
5 芳賀町のぎわいについて	野澤 莉子(2年1組)
6 災害対策について	高橋 実奈(2年2組)

2月1日(水)、芳賀中学校2年生が芳賀町議会議場で模擬議会を行い、一般質問形式で見目町長はじめとする町執行部と議論を交わしました。模擬議会が開催されたのは、平成17年以来12年ぶりです。芳賀中学校の代表として、議長2人、議員18人、書記2人、傍聴者35人が参加しました。日本の将来を担う生徒たちの、模擬議会での質問内容や町政に対する思いを紹介します。

私が模擬議会に参加して思ったことや分かったことは、議会では芳賀町の現状、未来のことを話し合っているということです。また、話を聞いて、LRTのことや、旧芳賀高跡地の利用のことなど、芳賀町の未来が具体的に考えられて回答してくださったので、深く納得いくのかを間近で参観することができ、とても貴重な体験をすることができました。私はソフトテニス部に所属しているので、「与能テニスコートの照明を全面に設置できないのか」という質問に対し、一番興味を持ちました。テニ

スコートの照明を増設するには、多額の費用がかかるので実現が難しいことが分かりました。しかし、私は将来何をしたいのかまだ定まっていません。しかし、今回の体験を通して、自分が生まれ育った町を発展させていきたいと思いました。この模擬議会は、私にとってよい体験となりました。

町長、副町長などの方々を前にして発言することは、とても緊張して勇気のいることでした。途切れながらの質問で上手に発言することができませんでしたが、町長の方々が丁寧に答えてくれました。芳賀町の条例や町の取り組みなど、私の知らないことをたくさん知ることができました。

議会全体を仕切る役割というところで、終始緊張していました。読み上げる台本には、「地方自治法第〇〇条」などの難しい言葉がたくさんあり、本物の議会を体験しているのだなと実感することができます。一般質問では、私たちからの質問に対して、町長や課長の方々が丁寧に答えてくれました。芳賀町の条例や町の取り組みなど、私の知らないことをたくさん知ることができました。

LRTやショッピングモールの誘致の質問のときには、私が前々からとても興味のある質問内容だったので、議長をしながら町長の回答に思わず聞き入ってしまいました。議長という役割を終えて、芳賀町の政治について関心が高まりました。これからも町や国の政治に興味をもつて、自分の考えを深めていきたいです。

